

9月試験

筆答試験Ⅰ（日本語小論文）

・出題は「日本本土と沖縄の美意識について」論じる、というものである。双方の芸術文化についてある程度理解しているか、普遍性について理解しているか。また、用語を正確に把握しているかを問うている。また、作文については以下の点について評価した。

1. 根拠に基づいた論理的な主張がされているか。
2. 問題を正しく理解し、適切に解答しているか。
3. 論旨は明確か。
4. パラグラフ（段落）を構成要素としているか。
5. 適切な文字数で論じられているか。
6. 誤字・脱字・口語がないか。
7. 助詞を適切に使っているか。
8. 原稿用紙を適切に使っているか。

筆答試験Ⅱ（美学・芸術学）

- ・美学の専門用語について、その概念史も踏まえた上での理解力を判定した。
- ・人文学の専門用語を的確に理解し、芸術学の文脈にパラフレーズできる能力を判定した。

筆答試験Ⅱ（美術史）

- ・美術史を学ぶ上で必要な知識を有しているか、美術史における重要な事項について考察できるか、自分の考えを合理的に論述できるかの能力を評価するための問題である。
- ・美術史を西洋、日本（琉球・沖縄を含む）、アジア（日本・琉球・沖縄を除く）に分け、それぞれの地域の美術に特徴的な事柄を選択肢とした。
- ・また、文献の検索能力や読解力を見るために、参考文献を明示することを求めた。

研究計画書・口述試験

・修士課程での学修にふさわしい、高度な研究計画が立てられているかどうか。また、提出された研究計画書に対して、自らの研究内容をきちんと理解し、研究に必要な基礎的知識と意欲を持ち合わせているかどうかを評価した。

2月試験

筆答試験（日本語小論文）

・出題は「復興と芸術について」論じる、というものである。人災や巨大災害などの復興はインフラ以外の芸術的な活動も多く報じられる。これらの事例を挙げて論じることができるかを問うた。また、用語を正確に把握しているかを問うている。また、作文については以下の点について評価した。

1. 根拠に基づいた論理的な主張がされているか。
2. 問題を正しく理解し、適切に解答しているか。

3. 論旨は明確か。
4. パラグラフ（段落）を構成要素としているか。
5. 適切な文字数で論じられているか。
6. 誤字・脱字・口語がないか。
7. 助詞を適切に使っているか。
8. 原稿用紙を適切に使っているか。

卒業論文

- ・修士課程での学修にふさわしい内容かつ、高度な論述がなされているかどうかを評価した。

口述試験

- ・自らの研究内容をきちんと理解し、研究に必要な基礎的知識と意欲を持ち合わせているかどうかを評価した。

沖縄県立芸術大学大学院（修士課程）造形芸術研究科
令和8年度 比較芸術学専攻 筆答試験Ⅰ【日本語小論文】

【問題】

下記のテーマについて論じなさい（2,000字以内）。

○日本本土と沖縄の美意識の共通点と相違点について論じなさい。

【留意事項】

- 1.別紙の解答用紙に HB 以上の濃さの鉛筆またはシャープペンシルで書くこと。
解答用紙一枚は 400 字。
- 2.自筆（手書き）で書くこと。
- 3.横書きで書くこと。

沖縄県立芸術大学 造形芸術研究科 比較芸術学専攻

令和8年度入学者選抜試験問題（9月試験）

美学・芸術学

問 1、問 2 の両方を解答すること

問 1

次の三つの語のなかから一つを選択し、概念史を踏まえて論述せよ。

(解答用紙の第一行目に番号と語を明記せよ。)

- 1 崇高
- 2 ピクチャレスク
- 3 優美

問 2

次の三つの語のなかから一つ以上を選択し、視覚文化（作品一般や、任意の表現者や作品のいずれでも構わない）と選択した語とのかかわりをふまえつつ、自由に論述せよ。（解答用紙の第一行目に番号と語を明記せよ。）

- 1 シミュラークル
- 2 パフォーマンス
- 3 モダニズム

沖縄県立芸術大学大学院（修士課程）造形芸術研究科

令和8年度(9月試験)比較芸術学専攻 筆答試験Ⅱ(専門科目)【美術史】

問1、2、3のすべてに解答しなさい。

問1. 西洋美術史について、下記の選択肢からテーマを一つ選び、論述しなさい。

(2000字以上)

選択肢 コレクション・大聖堂・影

問2. 日本美術史(琉球・沖縄を含む)について、下記の選択肢からテーマを一つ選び、論述しなさい。(2000字以上)

選択肢 役者絵・観音菩薩・動物

問3. アジアの美術史(日本・琉球・沖縄を除く)について、下記の選択肢からテーマを一つ選び、論述しなさい。(2000字以上)

選択肢 山水画・石窟・シルクロード

※解答は、本人が鉛筆で手書きすること。

※生成AIは使用しないこと。

※すべての解答について参考にした文献等を明示すること。

沖縄県立芸術大学大学院（修士課程）造形芸術研究科（2月入試）
令和8年度 比較芸術学専攻 筆答試験Ⅰ【日本語小論文】

【問題】

下記のテーマについて論じなさい（2,000字以内）。

○復興と芸術について論じなさい。

【留意事項】

- 1.別紙の解答用紙に HB 以上の濃さの鉛筆またはシャープペンシルで書くこと。
解答用紙一枚は 400 字。
- 2.自筆（手書き）で書くこと。
- 3.横書きで書くこと。

令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科入試
比較芸術学専修の解答・解答例について

9月試験

1. 筆答試験Ⅰ

選択できる語学のうち「日本語小論文」については、論述式の設問によって、日本語の語学能力を判定するため、一義的な解答例は存在しない。よって、解答例は公表できない。

2. 筆答試験Ⅱ

論述式の設問によって、専門分野ごとの能力を判定するため、一義的な解答例は存在しない。よって、解答例は公表できない。

3. 研究計画書・口述試験

内容が個々の研究テーマに関することであり、解答及び解答例がないため公表できない。

2月試験

1. 筆答試験Ⅰ

選択できる語学のうち「日本語小論文」については、論述式の設問によって、日本語の語学能力を判定するため、一義的な解答例は存在しない。よって、解答例は公表できない。

2. 卒業論文

専門分野について論述された論文に対して判定を行うため、一義的な解答例は存在しない。よって、解答例は公表できない。

3. 口述試験

内容が個々の研究テーマに関することであり、解答及び解答例がないため公表できない。